



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennancho@zennancho.or.jp

第21回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 香川(うどん県大会)開催 (11月21日(土)、22日(日)、23日(月))



第21回全国中途失聴者・難聴者福祉大会は、「青い国 青い空 青い海、四国、香川高松」で開催されました。

会場は、高松駅近くの施設、高松サンポートタワーで、窓からは瀬戸内海が一望できる場所です。案内ボードには「遠く岡山を臨む・・・」とありますが、対岸の岡山県は大変近くに見え、アートで有名な直島、豊島を含む風景は、風光明媚という言葉がまさに当てはまる場所です。

上の画像は、二日目の全体会のアトラクションに登場した「でけでけ隊」という踊り子チームで、養護学校の児童と、健常者が一緒になってエアロビクスとよさこいを組み合わせたダンスを披露しました。

分科会、全体会と障害と社会参加について真摯に考える2日間でした。2日目の昼休憩後の記念講演では一転して香川県出身の断家「桂こけ枝」さんのお話に大笑いし、その後に登場した「でけでけ隊」は、障害の有無にかかわらず、一緒になって楽しく踊ることの素晴らしさを感じさせてくれるものでした。大会プログラムの締めくくりにこの踊り子チームを準備されたことが、香川県協会のメッセージと感じました。

分科会

- 第1分科会「中途失聴・難聴者が安心して病院に行けるようにするためには」
専門家である根間理事が座長をつとめる第1分科会は、補聴医療対策部と耳マーク部がコラボして医療に関する努力について発表と議論を行うものでした。香川県協会の綾野様から難聴者の要望について地元医師会と重ねた交渉の努力と経緯が発表されました。それに対し、根間理事や滋賀県琵琶湖病院の藤田医師から専門家としての意見が出されました。黒田理事からは、耳マーク普及活動を進める中で、難聴者の病院受診に対する取組みについて。故山口利勝氏の奥様山口美信さまからは、夫君の入院されてから亡くなるまでの医療側の対応や奥様が感じていらっしまったことなど具体的な事例が紹介されました。
- 第2分科会「演劇公演「幸子」から考える中途失聴・難聴者の自立について」
難聴女性を主人公にした演劇公演「幸子」をプログラムに取り入れた第2分科会は、大ホールで開かれました。会社で働く難聴の女性を取り巻く状況を描いた部分と、劇中に行なわれるパネルディスカッションは迫真に迫るものがありました。公演後行なわれた実際のパネルディスカッションでは新谷理事長が座長、パネラーに永末女性部長、香川県協会の横田美香さんと演劇の脚本・シナリオ作成の徳島在住の大西鉄男さんが発表されました。
- 第3分科会「インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進」
今大会式典において大臣祝辞を代読された厚労省自立支援振興室の時末専門官もこの分科会に参加されていました。瀬谷部長とともに座長をつとめた文部科学省の庄司美千代専門官による基調講演は、権利条約と子供の可能性を結ぶ教育について資料を交えてお話されました。地元香川県、高松市の難聴児教育に関わる行政・教師の方々にも意見を発表いただきました。
- 第4分科会「働きやすい職場を作る、コミュニケーション」
職場での人間関係の構築は就労世代の難聴者にとっては切実な問題・課題を抱えています。現在青年部がもっとも多く直面している問題です。吉野青年部長を座長とした第4分科会は、合理的配慮と企業にとっての負担について正面から話し合う場となりました。第一生命経済研究所の水野研究員や、法テラス常勤弁護士で難聴である若林弁護士が差別解消法施行に向けた職場環境の改善についてお話されました。
- 第5分科会「音声認識技術の最前線」



NHKの取材が入り、参加者が最も多かった第5分科会の冒頭は「UDトークを情報保障と捉えていません」という小川座長の発言から始まりました。情報伝達手段の一つととらえるというものなので、会場にはUDトークの音声認識による文字表示と、パソコン要約筆記の表示の2画面が用意されました。開発者と利用者がそれぞれの立場で意見を述べ合う場はそれほど多くありませんので、新しい技術について新たな見方ができた分科会となりました。

全体会

重要な法整備がなされている状況を踏まえ、今回の福祉大会全体会では、通常行なわれていた分科会報告を行わず、**新谷理事長**による全難聴の活動に関する基調報告と、**全要研三宅理事長**との対談が行なわれました。

基調報告の中では、聞こえに困難を生じている難聴者への福祉サービス拡充へ向けてのデシベルダウン運動再構築と、関連する団体との緊密な組織化を訴えました。重要なパートナーである全要研の三宅理事長との対談は、「中途失聴・難聴者の集団化と要約筆記」というテーマでご自身の体験も踏まえて、要約筆記奉仕員や要約筆記者の方々の果たした役割や難聴者協会が担ってきた役割など、それぞれの立場から発言いただきました。

聴力レベル (dB)	聴覚障害	聞こえの程度	障害認定	聴力の規定
0	正常			0. No Impairment
10				
20	軽度難聴	ささやき声		1. Slight Impairment (困難との程度、補聴器使用)
25				
40	中等度難聴	新聞をめくる音		2. Moderate Impairment (補聴器の要りあり)
50		普通の会話		
60		少し大きな声での会話		3. Severe Impairment (補聴器使用、手話)
70			6級	手話の習得)
80	高度難聴	大声	4級	
90		怒鳴り声	3級	4. Profound Impairment (補聴器の部分の効果が、手話・通話必須)
100		ガード下での車の騒音		
110	重度難聴	Swissの車のクラクション	2級	
120				
130		飛行機のエンジン音		

デシベルダウンの主張

500万人 ~ 550万人

45万人

取得可能 障害者手帳

司会は**佐野事務局長**が担当しました。

湯浅理事、並びに香川県協会の皆様。お疲れ様でした。次回の福祉大会は奈良県で開催されます。



(本記事内写真提供：岐阜県協会 島村様)

茨城県の災害に関する報告

茨城県協会の**齋藤理事長**(全難聴監事)と、**佐藤事務局長**がうどん県福祉大会に参加され、常総市の被災状況のパネル展示を行い、同時に募金活動も行いました。

大会での災害支援に対する募金は、トータルで46名の方から54,659円が寄せられました。誠にありがとうございました。

常総市の会員の方3名に対する支援は現在も継続しています。状況は逐次**齋藤理事長**より報告されています。

常総市 10月31日の支援について

支援者：副理事長、監事、会計

被災者宅を訪問。家は大体が終わってきれいな室内になってきた。トイレも洗面所もピカピカの新品でこれから花嫁さんを迎えるような雰囲気があった。今回はかなりお疲れのようで反応が少々鈍くなったように感じた。やることがいっぱい追いつかなくて参っているのではと感じた。自宅半壊で大変な思いをされましたがこれからは一つ一つ綺麗に回復していくのを楽しみにしながら乗り越えて欲しいと思う。

常総市被災者 11月20日現在の状況

1階のリビング、仏壇の部屋、和室3室はきれいにリフォームされていた。換気扇は工事中で火を使った料理はまだ。風呂も、修理中。

⇧ 理事及び専門部長の動き（11/1～11/30）

- 11月6日 情報文化センター第2回評議員会（新谷）
- 11月7日 国際部会議（瀬谷）
- 11月10日 四団体連絡会（新谷）
- 11月10日 シーズ・ニーズマッチング協議会会議（川井）
- 11月10日 毎日新聞生活報道部取材（新谷）
- 11月20日 JDF 幹事会（新谷）
- 11月20日 障害者放送協議会第2回放送・通信バリアフリー委員会（小川）
- 11月21日～23日 福祉大会 in うどん県（新谷、佐野、川場、湯浅、高木、根間、川井、黒田、宿谷、東海林、信木、齋藤、小川、瀬谷、荒川）
- 11月26日 JD 権利条約勉強会（新谷）
- 11月27日 情文センター要約筆記運営委員会（新谷）
- 11月29日 兵庫県協会要約筆記研修会（宇田川）

⇧ 事務局報告

- 11月7日 国際部会議
- 11月10日 毎日新聞生活報道部取材
- 11月11日 アイセック・ジャパン字幕電話モニター募集説明
- 11月12日 JDF 権利条約推進委員会（国際部員参加）
- 11月13日 朝日新聞耳マーク取材
- 11月21日～23日 福祉大会 in うどん県
- 11月26日 JD 権利条約勉強会
- 11月30日 全難聴だより No. 90 発行

《予定》

- 12月1日 CS 統一機構第63回理事会、臨時総会
- 12月2日 オリ・パラ「アクセシビリティ協議会」第5回作業部会
- 12月3日 厚労大臣表彰式典
- 12月3日 権利条約推進議員連盟総会
- 12月3日 障害者フォーラム
- 12月4日 第1回「メディア・アクセシビリティとIPTV」シンポジウム
- 12月8日 JDF 全国フォーラム
- 12月12日～13日 情報アクセシビリティフォーラム2015
- 12月15日 第2回研究委員会・第5回研究作業委員会合同開催
- 12月16日 共産党国会議員団懇談会
- 12月23日 全要研との定期協議会
- 12月25日 JDF 幹事会
- 12月25日 川崎市要約筆記者養成講座
- 12月28日 機関誌発送
- 12月28日 全難聴だより No. 91 発行

JD 学習会報告

日時 2015年11月26日
会場 参議院議員会館B104
障害者権利条約締約国としての政府報告に関する学習会がJD主催で開催されました。新谷理事長が「障害者の範囲、デシベルダウン運動を巡って」というテーマで発表しました。もう一つのテーマ「障害のある児童」とともにその発表内容は他の障害者にインパクトを与えるものとなりました。

○ JDF 全国フォーラム開催情報

日時 2015年12月8日（火） 10時～16時30分
会場 秋葉原コンベンションホール（東京都千代田区外神田 1-18-13）
主催 日本障害フォーラム（JDF）
参加費 1,000円（介助者は無料。点字資料、手話通訳、要約筆記あり）
テーマ「～権利条約批准から2年～差別解消法施行によってどう変わる、私たちの暮らし」

○ 全難聴要約筆記事業研修会のお知らせ

日時 2016年 1月23日（土） 13時00分～18時20分
1月24日（日） 9時30分～15時00分
会場 大津市ふれあいプラザ（明日都浜大津）4階ホール